

点検結果報告書（第3期・令和元年度実績版）（案）に関する意見照会結果及び対応案について

1 点検結果報告書（第3期・令和元年度実績版）（案）への意見等について ※誤記の訂正等は除く

- 意見 （26件）【整理No. 1～5、7～14、16～28】
- ◆ 質問 （2件）【整理No. 6、15】

2 各意見に対する対応案について

意見の内容に応じて、点検結果報告書の総括等に記載するなどの対応案について以下のとおり区分した。

- 【総括本文】 委員からの意見の主旨に沿って総括本文に記載、又は総括本文を修正、加除した。
- 【個別意見】 委員からの意見の主旨に沿って総括本文を修正、加除することは困難であるため、県民会議委員の意見として別欄に記載した。
- 【報告書反映】 総括本文以外の箇所の意見、報告書の表記の仕方等に関する意見として、報告書に反映した。
- 【その他】 点検結果報告書に記載する以外の方法で対応した。

3 意見別対応案一覧

事業名	整理No	意見	委員名	対応案
総括全般	1	○ (P0-9) 10行目：「森林の保全・再生は概ね順調に」→「森林の保全・再生に関しては概ね順調に」 15行目の「河川や地下水の保全・再生に関しては」に合わせたらどうでしょうか。本事業のなかでの森林の部分という意味が少し出た方が良くと思います。  (回答) ご指摘のとおり修正しました。	岡田	総括本文
2 丹沢・大山の保全・再生	2	○ (P2-2) 「ブナ林等の再生」の中で、「檜洞丸山頂一帯で、健全なブナの個体数が2倍に増加するなどを確認しており」とあります。さまざまな取り組みの中で、個別具体的な箇所で、中でもブナの立ち枯れなどが深刻だったとされる檜洞丸山頂一帯で、ブナの個体数が2倍に増加したというのは、非常に興味深く感じました。一つの象徴として、広く県民に事業の成果を伝えられる切り口になるかとも思います。この檜洞丸山頂一帯でのブナの改善状況を、もう少し具体的に説明し、写真なども入れて紹介するとよいと感じます。  (回答) ご指摘を踏まえ、総括本文に具体的な数値を記載しました。	石本	総括本文

事業名	整理No	意見	委員名	対応案
4 間伐材の搬出促進	3	<p>○ 上から6行目「多くのC材が買い取られた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買い取った相手が発電所と考えているのであれば、C材を買っているのではなく、神奈川県森林組合連合会で燃料用チップに加工したものを買っているのである。</li> <li>・ 「多くの」とあるが、令和元年10月から3月までの燃料用チップ販売実績は、導入した中古チップ等の生産性が低かったため、令和2年度上半期実績の1/10と少量であったことから、適切な表現ではない。</li> <li>・ よって修正案「低質材が燃料用チップとして活用された」と提案する。</li> </ul> <p>(回答) ご指摘のとおり修正しました。</p>	稲垣	総括本文
	4	<p>○ 上から14行目「現況把握の段階であり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5か年計画のうち3年目の実績であることから、こうした表現は難しいと考える。</li> <li>・ よって修正案「(この部分を削除)」を提案する。</li> </ul> <p>(回答) ご指摘のとおり修正しました。</p>	稲垣	総括本文
5 地域水源林整備の支援	5	<p>○ (P5-1) 整備実績を落としている → 整備実績が低下している</p> <p>(回答) ご指摘のとおり修正しました。</p>	岡田	報告書反映
	6	<p>◆ (P5-2) 上から15行目(3) 高齢級間伐の促進 について 「～若干遅れているので、今後の事業進捗に期待したい」とあるが、どのような事業進捗か具体的なイメージがありますか。</p> <p>(回答) 令和元年度末時点では、事業進捗を図るために事業量を増加させることとして計画を立てておりました。しかし、計画時に想定していなかった事態により、令和3年1月時点の事業進捗は厳しい状況となっております。</p>	星野	その他 ※左記のとおり回答を作成

事業名	整理№	意見	委員名	対応案
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	7	<p>○ (P6-1)  総括で「工事後の水質調査を実施した結果、BOD は概ね河川の環境基準A類型相当」とありますが、工事箇所数 10 箇所とあるうちの、どこの川のどの部分の事業が、どのように水質が改善したのかが分かりません。資料 1-7 ホームページ掲載資料編 12～13 ページにあるものが、その一覧なのでしょう。いずれにしても事業を行った箇所（6-5 ページの表でしょうか）が具体的にどのような効果があったのかをわかりやすく知りたいと思います。</p> <p>(回答) ご指摘を踏まえ、総括本文に具体的な効果を記載しました。</p>	石本	総括本文
10 水環境モニタリングの実施	8	<p>○ (P10-2)  (2) 河川のモニタリング調査  「酒匂川（相模川同様）の河川水中の窒素濃度の減少があった」とあります。これが相模湖及び津久井湖のアオコ発生の抑制とどう関係しているのかのロジックが不明確です。  相模湖、津久井湖に注がれる流入河川の窒素濃度が減少したというのであれば、相模湖・津久井湖の水質に影響してアオコ発生の抑制が期待できるというロジックは理解できるのですが、文中の相模川というのは相模湖・津久井湖から流れ出る流出河川の水質のことだと思います（正しいでしょうか？）。  ①相模湖・津久井湖で繁茂したアオコが窒素を吸収したことで、下流の窒素濃度が下がった可能性はないでしょうか。  ②相模湖・津久井湖での窒素濃度は減少しているのでしょうか。</p> <p>(回答) 酒匂川の結果は広域的な窒素源からの減少を示しているという説明を追加し、前年度の相模川の調査結果を引き継ぐ形で引き続きアオコ発生が課題となっている相模湖、津久井湖の状況を注視していくという文言に変更しました。  また、それぞれの「川」の後に「水系」を入れることによって相模湖上流も含めていることを明確化しました。  ①相模湖下流だけでなく湖上流の森林地帯を流れる下線においても窒素濃度が減少しています。そのため、広域的な窒素発生源からの排出量が減少したのではないかと想定しています。  ②相模湖・津久井湖については長期的にみるといずれも全窒素の濃度が減少傾向を示しており、平成 12 年頃は年平均 1.4～1.5 mg/L であった全窒素濃度は近年では年平均 1.0～1.1 mg/L 程度まで減少しています。</p>	岡田	報告書反映

事業名	整理No	意見	委員名	対応案
10 水環境モニタリングの実施(つづき)	9	<p>○ (P10-9) 森林のモニタリング調査(人工林現況調査)のなかにある「ポリゴン」について注釈があると解りやすい。</p> <p>(回答) P10-9(4)イ及び欄外を下記の通り修正しました。 森林資源情報かいえきより得られた、収量比数、開空度、下層植生被度及び相対幹距離を用いてポリゴン<sup>注1</sup>ごとに評価を行ったところ、・・・</p> <p>注1 ポリゴンとは、神奈川県地域森林計画上で森林を区分する最小単位であり、森林を樹種や林齢等の林層ごとに区分したものの。</p>	根岸	報告書反映
11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	10	<p>○ (P11-2) (3) 県民に対する普及・啓発、情報提供、県民からの意見集約について 「～前年度に作成した絵本・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」を配布した小学校に対し、活用を…」という記載を「～小学校や団体に対し…」に修正すべきではないか。</p> <p>(回答) 令和元年度にアンケート調査を行ったのは、絵本・紙芝居を配布した小学校のみですので、原案どおりとさせていただきます。</p>	上宮田	その他 ※左記のとおり回答を作成
	11	<p>○ (P11-3) 1 事業進捗状況(1) 県民会議にて第47回県民会議が新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、初めての書面開催で行ったことが明示されていないため、記載すべき。</p> <p>(回答) 11-3ページに第47回県民会議は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、初めて書面開催としたことを追記し、議題・活動の表にも記載しました。</p>	鈴木	報告書反映
	12	<p>○ (P11-5) 5 前年度の点検結果報告書(第3期・平成30年度実績版)を踏まえた取組状況について(1) 事業の点検・評価について ①下線部分「定量的」「定性的」の意味は専門家ならすぐにわかると思うが、この点検結果報告書を県民が見た場合に、すぐに理解する人がどの程度いるだろうかと思う。 例えば、11-5ページの右側下段に空欄があるので㊟として説明文をいれるとか。</p>	増田	その他 ※左記のとおり回答を作成

事業名	整理No	意見	委員名	対応案
		<p>(回答) ご指摘いただきました語句につきましては、当該箇所以外にも点検結果報告書内で使用しております。文中では「定量的」「定性的」と記載しておりますが、これらは文中にあります「総合的な評価」に関する「定量的評価」「定性的評価」ということであり、全体を通してご確認いただくことで語句の意味を理解していただけるものと考えます。</p> <p>また、今回ご指摘をいただきました箇所は、平成30年度実績版の総括内容を踏まえたうえでの、令和元年度の取組状況を記載しており、こちらに注釈を加えますと平成30年度実績版の点検結果報告書と整合性がとれなくなることから、原案のとおりとさせていただきます。</p>		
全体・その他	13	<p>○ (P0-8)</p> <p>「令和元年台風第19号による記録的な大雨と被害状況について」に、災害発生日の情報が記載されていないため、「2019年10月12日19時前に伊豆半島に上陸した台風19号により、・・・」など10月上旬ということがわかる情報追加が望ましい。</p> <p>(回答) 1段落の3行目「令和元年台風第19号は～」としていたところ、「令和元年『10月12日19時前に伊豆半島に上陸した』台風第19号は～」と発生日時を追加しました。</p>	鈴木	報告書反映
	14	<p>○ 概要版 2ページ中段</p> <p>④間伐材搬出促進の説明のうち「森林整備を循環させ」は、「森林整備」を生かすと「促進させ」となり、「循環させ」を生かすと「森林資源」となると思う。その前段が「間伐材の有効利用を図るとともに」となっているので「森林整備を促進させ」等の表現にしてはどうか。</p> <p>(回答) 下記の通り修正しました。 「間伐材の有効活用により森林整備を促進し、・・・」</p>	稲垣	その他 ※左記のとおり回答を作成
	15	<p>◆ ホームページ掲載資料編 資料ア</p> <p>事業モニタリング調査として、8つの検証がなされていますが、各事業のどの評価に対するのかわかりにくいと思います。</p> <p>① 資料1-5(点検結果報告書(案))の0-4ページの各事業の評価の流れ図(構造図)に1次的アウトカムの列にある事業モニタリングと対応するのでしょうか。</p> <p>(回答) 点検結果報告書(案)0-4ページの各事業の評価の流れ図(構造図)の1次的アウトカムの列にある事業モニタリングと対応します。</p>	岡田	その他 ※左記のとおり回答を作成

事業名	整理№	意見	委員名	対応案
全体・その他 (つづき)		<p>② 森林モニタリングは1～5、河川モニタリングは6と7、地下水モニタリングは8ですね。最初に事業モニタリング調査の一覧みたいなのがあってもいいかもしれません。または、番号を2階層にするなどの工夫でも対応できそうに思うのですが、どうでしょうか（例えば、1. 森林モニタリング 1-1. 森林整備による事業効果の検証、2-2. x x x）。</p> <p>(回答) ホームページ掲載資料編の資料アの関連事業の各事業のモニタリング調査結果をご確認いただくことで内容の把握ができると思いますので、原案どおりとさせていただきます。 また、報告書(案)のP0-4の事業の評価の流れ図の1次的アウトカムの部分をご確認いただくことでもモニタリングの全体像が把握できると考えます。</p>		その他 ※左記のとおり回答を作成
	16	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア(6) これまでの検証結果等 6～8の検証では図表が付記されているのに対し、1～5の検証は文章の説明だけで、バランスに違和感があります。 1～5の検証…別の場所に図表があるのでしたら、そのページに飛べるようにリンクを貼ることはできないでしょうか。この資料まで検索してたどりついて見ているのですから、詳細なことを知りたいはずです。ないのでしたら、説明文の結果のうち代表的な図表を一つでいいので組み入れてもう少しだけ情報を提供してあげるといいのではと思います。</p> <p>(回答) ホームページ掲載資料編は点検結果報告書本体を補う資料であり、森林関係のモニタリング調査結果は各事業のページや10番事業のページにも記載していることや、図表なくても文章が簡潔明瞭でご理解いただけると考えられることから、原案どおりとさせていただきます。</p>	岡田	その他 ※左記のとおり回答を作成
	17	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料アP5 5 溪畔林整備による事業効果の検証 溪畔林整備については、第2期実行5か年計画で終了し、施工後3～5年毎に調査を実施していることは承知しているが、「(6) これまでの検証結果等」について、他の森林関係事業の記載が詳細であるのに比べ、大変簡素になっているため、できる範囲で記載を肉付けし、全体とのバランスを取るのがよいと思います。</p> <p>(回答) ご指摘いただきましたご意見を踏まえ、(6) これまでの検証結果等に追記しました。</p>	稲垣	その他 ※左記のとおり回答を作成

事業名	整理№	意見	委員名	対応案
全体・その他 (つづき)	18	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P6 6 河川の流域における動植物等調査</p> <p>① 環境 DNA 調査は新規調査とのことですが、環境 DNA 調査とは何か、有効性など説明があると理解しやすい。</p> <p>② P8、P9、P10 の全調査地点で確認された種数は、それぞれ 57 種、40 種、718 種と思いますが、図の下の説明書きに記載したほうが分かりやすいと思います。</p> <p>(回答) ①環境DNA及びアオコ評価について調査のねらいに追記しました。 ②ご指摘のとおり修正しました。</p>	宮下	その他 ※左記のとおり回答を作成
	19	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P6 6 河川の流域における動植物等調査</p> <p>調査項目①の環境 DNA 調査について、P11 の&lt;新規調査(衛星画像を用いたアオコ評価手法開発)&gt;に合わせて&lt;新規調査(環境 DNA 調査手法の開発)&gt;にしてはどうでしょうか。「開発」しているということを強調したほうがいいと思います。</p> <p>(回答) 環境 DNA 調査とアオコ評価手法については既存の調査を水源施策の効果把握のために新たに導入することから、「開発」ではなく「導入」と表記することとし、修正しました。</p>	岡田	その他 ※左記のとおり回答を作成
	20	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P6、P7 6 河川の流域における動植物等調査</p> <p>図のタイトルの「いずれかの手法で」…いずれとは何か意味が不明確です。「捕獲調査の保管として有用かを調べるため、新しい手法である環境 DNA 調査を同じ地点で実施し、結果を比較した」など、図を理解するための背景の説明も必要と思います。</p> <p>(回答) (5) 調査方法等の項目に捕獲調査と環境 DNA 調査の同時実施と結果の比較を行う旨追記しました。</p>	岡田	報告書反映
	21	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P11</p> <p>&lt;新規調査(衛星画像を用いたアオコ評価手法開発)&gt;</p> <p>この手法を用いることでアオコ発生の面的な発生状況を評価することができるなど、開発の目的も説明するとわかりやすいのではと思いました。面的にデータを把握できるようになるということは非常に有意義ですので強調すべきことだと思います。</p> <p>(回答) (5) 調査方法等の項目に追記しました。</p>	岡田	報告書反映

事業名	整理No	意見	委員名	対応案
全体・その他 (つづき)	22	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P12～15 7 河川・水路の自然浄化対策による事業効果の検証 ①②③の使い方が、工事種別と、調査項目と、評価点の3種で、使用されているので、符号を変えるなど、工夫がほしいと感じました。</p> <p>(回答) 本文中の①、②を i、ii に、河川・水路等の整備の事業箇所の①～④を<sub>1</sub>～<sub>4</sub>に修正しました。事業評価シートの評価点の符号は評価点の区分を示しているため、原案どおりとさせていただきます。</p>	星野	報告書反映
	23	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P16 8 地下水保全対策による事業効果の検証 P16, 17 地下水位のデータ…地下水位は地下水利用に問題ない水位レベルを維持していると説明にあります。P17 の図には水位とともに降水量のデータもプロットされているので、降水量との関係についてもふれて言及しておくのがいいと思います。</p> <p>(回答) ホームページ掲載資料編 資料ア P16 に地下水と降雨の関係について次のとおり追記しました。 「・地下水位は直前の降雨状況に応じて変動しているものの、年間を通じて地下水利用に問題のない水位レベルを維持している。」</p>	岡田	報告書反映
	24	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P16 8 地下水保全対策による事業効果の検証 当初は、秦野市、座間市、中井町で水質汚染が見られたところ、現在は秦野市のみ汚染対策を継続していることは、点検結果報告書を読むとわかるのですが、HP 掲載資料では現在のこと（秦野市で水質汚染対策を行っていること）についての説明がなされています。その中、P18 で、中井町のデータが示されていることに、唐突な印象を持ちました。当初からの経過についてふれる一文を添えるか、秦野市のデータに限定されることを提案いたします。</p>	根岸	総括本文
	25	<p>○ ホームページ掲載資料編 資料ア P16 8 地下水保全対策による事業効果の検証 ① 地下水汚染対策のモニタリングでテトラクロロエチレンの濃度が減少とあるが、減少を示す図が見当たらなかった。説得力を高めるために減少を示す図があった方が分かりやすいと思慮されます。 ② P18 で硝酸性窒素濃度の変化は図で示されているが、説明書はなく説明があった方が理解しやすい。</p>	宮下	報告書反映
	26	<p>○ P16, 18 硝酸性窒素濃度のデータが示されていますが、これに関する説明がありません。この P18 の図表でなにをいいたいのか説明が必要と思います。P16 の説明文にはテトラクロロエチレンにふれていますが、表示すべき図表を取り違えているのでしょうか。</p>	岡田	
	27	<p>○ P18 硝酸性窒素濃度を調査している理由の注があると、分かりやすいと思います。</p>	星野	報告書反映

事業名	整理No	意見	委員名	対応案
全体・その他 (つづき)	28	<p>(回答) 整理 No. 24、25②、26、27 について  本文総括に説明を追記するため、次のとおり修正いたしました。  P7-1 総括 9 行目「～同様に中井町についても、富栄養化物質とされる硝酸性窒素が環境基準  (10 mg/L) に近い数値を示しているため、モニタリングを継続している。・・・」  整理 No. 25①について  ホームページ掲載資料編 資料ア P18 に「秦野市におけるテトラクロロエチレン濃度の変化」  のグラフを追記しました。</p> <p>○ 修正を行わない箇所について  ①各事業の「3 県民会議 事業モニター結果」【総合評価】で紹介している意見は県民会議委員からの  意見を修正せず記載しているため、である調とですます調が混じっているものもありますが、委員から  のご意見の反映ということでいただいた状態のままの記載とします(誤字、脱字等の修正は対応)。</p> <p>■ 事務局による修正について  Ⅲ 各事業の概要と点検結果 3番事業のレイアウト修正  (P3-3) 写真、(P3-4～3-5) モニタリング調査結果を(P3-1) 事業概要【事業内容】にあるとおり、  ①水源林の基盤の整備、②中高標高域の自然林の土壤保全対策の実施、③高標高域の人工林の土壤保全  対策の実施の順になるよう入替えを行いました。</p>	根岸	